

ボランティア・市民活動情報誌

Comvo

Communication & Voluntary

2026

8.9月号

vol.304

Let's start by doing
what we can!

まずはできることから
やってみましょう！



特集

「出会いをつなぐ 広げるチカラ」

障がいのあるスタッフと地域で育てた あたたかなコミュニティ

特定非営利活動法人 チュラキューブ

- 5 ボラ基金交付団体へ突撃取材 植物を通して安心できる居場所を
ガーデンふぁむ
- 6 おいでよ!地域のこどもたち 団地の一室で『蒼組』が紡ぐ地域のつながり
蒼組

食でつながり
地域をつくる居場所

出会いをつなぐ
広げるチカラ

2026 COMVO

障がいのあるスタッフと地域で育てた あたたかなコミュニティ

団体名
特定非営利
活動法人
チュラキューブ

こどもだけではなく、高齢者や地域住民、学生など誰もが食べに来ることが出来る居場所として週に3回開かれている「杉本町みんな食堂」。

この場所は『特定非営利活動法人チュラキューブ』が企業等と協働で運営し、食堂の調理や接客は、知的障がいや精神障がいのあるスタッフが担当しています。あらゆる人が食事を通じて顔を合わせ、地域とつながりあい、支え合い、未来をともに育てていく。今号では、そんな温かな関係性を育む活動の様子を、少し覗いてみましょう。

地域課題を「掛け算」で 解決するという発想

『特定非営利活動法人チュラキューブ』（以下、『チュラキューブ』）は、高齢者や障がい者などの配慮を必要とする人への支援事業の推進及び高齢化社会、障がい者の生活の不自由さなどの社会問題を解決する手助けとなることを目的に、2012年に設立されました。赤メガネが印象的な『チュラキューブ』代表理事の中川悠さん（以下、中川さん）は、「祖父は精神科の病院を営み、父は義肢装具の開発者なので、幼いときから障がいのある人たちと関わる環境で育ち、「障がいはいは決して他人事ではない！」という感覚をもって社会に出たように思います。大学卒業後には雑誌の編集者の職に就きましたが、社会情勢や困りごとを抱えている人を目の当たりにし、社会の困りごとを解決したいと考えるようになりました。そこで障がい者福祉に取り組む団体として、編集者時代に

下、中川さんは、「祖父は精神科の病院を営み、父は義肢装具の開発者なので、幼いときから障がいのある人たちと関わる環境で育ち、「障がいはいは決して他人事ではない！」という感覚をもって社会に出たように思います。大学卒業後には雑誌の編集者の職に就きましたが、社会情勢や困りごとを抱えている人を目の当たりにし、社会の困りごとを解決したいと考えるようになりました。そこで障がい者福祉に取り組む団体として、編集者時代に

培った情報収集力と、ジャンルや地域資源を組み合わせる「掛け算」の発想を活かし、伝統工業や農業、こども食堂、障がい者福祉、高齢者支援などなど、異なる領域を組み合わせながら、地域の中で多様な人が関わり新たな価値を生み出す活動をつくりだすことにしました」と、団体を立ち上げた経緯について話します。

こうした積み重ねの先で誕生したのが、企業の障がい者雇用と、地域の孤食問題、空き屋の活用という3つの社会課題を、「地域食堂」という一つの拠点でつないで、解決をめざす、地域に開かれた新しい居場所づくりです。

食でつながる「また来たい」と
思える居場所

大阪市住吉区・杉本町駅からゆつ



高齢者宅までの配食も

くり歩いて10分。団地の一角にある小さな一室で、週3回(月・水・金)の正午から午後2時まで『杉本町みんな食堂』(以下、『みんな食堂』)がそと扉を開きます。もともと空き部屋だった一室を食堂に、隣の集会場はカフェスペースへと生まれ変わり、地域の人がふらりと立ち寄り、温かい食事と人の気配にホッとできる地域の居場所になっています。

『みんな食堂』が始まったきっかけについて中川さんは、「団地を運営する大阪府住宅供給公社から地域活性化の相談があり、「7戸のうち空室が20戸あり、入居者の多くも高齢化している。団地のコミュニティをもう一度元気にしたい」という声かけを受けました。その相談と、これまで障がい者の社会課題や雇用の改善に取り組んできた経験を活かし、2018年9月から複数企業と連携して、障がいのあるスタッフが調理・接客・清掃を担当するランチ食堂として地域の居場所づくりを始めました。現在は協力企業5社の、16人の障がいのあるスタッフが食堂を支えています」と、話してくれました。

取材に訪れたのは『みんな食堂』オープン後の20分前。台所では約10人のスタッフが、盛り付けや清掃、配食の準備など、それぞれの役割を黙々と、そして丁寧に進めていました。慌ただしさの中にも、誰かを急かす声かけはありません。互いを尊重しながら、同じ方向を向いて、今日も来てくれるお客さんのためにと準備をする姿が、とても穏やかで心地よい空気をつくっていました。開始前になると、外には待ちわぶるお客さんの姿がちらほら。多くは近隣住民ですが、時には大阪公立大学の教職員、学生が訪れることもあるとか。始まるとスタッフは大きな声で「いらっしゃいませ」と迎え入れ、配膳時には「お待たせしました」「ありがとうございます」と、スタッフとお客さんの温かい声があちこちから聞こえ、会場はやわらかな笑顔で満ちています。

『みんな食堂』には毎回40人ほどが訪れるため、16席の会場はすぐに満席になりますが、隣の集会所で開かれているカフェスペースが待ち時間や食後の時間を心地よいものしてくれます。お客さん同士も気心が知れて

いて、「カフェへ先に行って待ってるね」と声を掛け合う様子など、ゆったりとした時間が流れると同時に、自然な交流が生まれています。食堂とカフェが連動することで、団地に新しい交流の輪が広がり、地域の居場所としての役割が育まれています。

取材日のメインは
もやし団子の甘酢あんかけ。
あたたかな献立に
心が休まります



障がいのあるスタッフが
地域で活躍

『みんな食堂』では、障がいのあるスタッフが中心となり、地域のために力を寄せ合っています。なかには、かつて料理人として腕を振るっていた人もおり、高齢の利用者が普段口にしない料理を取り入れるなど、毎月の献立づくりにも工夫を凝らしています。一人ひとり得意なことも苦手なことも違うからこそ、互いに補い合いなが



企業のエプロンと
名札をつけて運営します

ら、毎回多くのスタッフが協力して食堂を開いています。

また杉本町とは別に、『社会福祉法人四恩学園』と連携して運営する『あびんこカフェ』でも、障がいのあるスタッフが地域の「員」として活躍しています。もともとは施設が単独で続いていた取組みでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で参加者は大幅に減少。そんな時、中川さんが施設のコミュニティソーシャルワーカーと出会い、障がいのある人が活躍できる居場所づくりの取組みを共有したことから、『みんな食堂』と同じく、地域とつながるカフェとして現在、活動を広げています。

食堂とカフェで活動するスタッフのそばには、常に『チュラキューブ』のメンバーが寄り添い、安心して運営ができるようフォローや心身のケアを行っています。その工夫について中川さんは、「心身が疲れたときにはすぐに休める体制をつくっていたり、毎朝の日報でその日の気分を10段階で表現してもらい、小さな気持ちの変化にも気づけるような仕組みを取り入れています」と、細やかに声をかけることで互いの信頼関係を築き、心理的安全性を保っていると話します。

さらには、『みんな食堂』に来ているお客さんも、スタッフの活躍を温かく、おおらかに見守っています。そのため、食事の提供に時間がかかっても、失敗しても「全然いいよ」という雰囲気がつくれ、落ち着いた状態で活動することができています。

『みんな食堂』が育てた 新たなつながり

障がい者の社会参加にはさまざまな課題がありますが、『みんな食堂』のように地域のコミュニティの中で役割を持ち、誰かのために力を発揮する経験は企業などにとっては地域貢献となり、当事者にとっては生活の幅を広げ、喜びや自信を育む大切な機会になっています。



できる人が
できることを。
焦らず一緒に

「この団地では、長年地域を支えてきたコミュニティの力が弱まり、ごども会や老人会、地域行事が姿を消し、自治会そのものを引き継ぐ担い手もないため解散まで検討をしていました。その状況を知り、『チュラキューブ』として何か力になれないかと活動を支え、応援してきたことで、地域の人たちと互いに支え合える関係性ができてきました」と、中川さんは『みんな食堂』の8年は、地域とともに歩み、積み重ねてきたものと話します。そして、「常連のお客さんの一人に認知症を発症し、ある日からりと外へ出かける姿を見かけたスタッフが、心配にな

り後を追いかけることがあります。その時は、隣町まで歩いて行ってしまうので、無事に連れて帰ったあと、食堂に集まったお客さんたちと一緒に、老いや介護のことを語り合う時間が生まれました」と、これまでの活動であつた思いがけない出来事を話してくれました。



『チュラキューブ』
スタッフ芥川さん(左)、
代表理事中川さん(右)

それ以外にも、スマホの使い方を相談されたり、重たい荷物を運ぶのを手伝ったり、独居の方が入院した際に必要なサポートをしたり……。この場所を通じて、障がいのあるスタッフにもコミュニティの「員」としての自覚が生まれ、住民同士が支え合い、思いを共有する関係が育まれています。こうした小さな積み重ねが『チュラキューブ』の活動の価値を確かなものにし、個人・地域の暮らしを支える大きな力となっています。

特定非営利活動法人チュラキューブ
TEL:06-6226-7993

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引 20%適用済／過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン
保険金の種類			
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円
		外来の手術	32,500円
	通院保険金日額	4,000円	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

商品パンフレットは
コチラから(ふくしの保険
ホームページ)

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

令和8年度大阪市ボランティア活動振興基金 福祉ボランティア活動交付団体へ突撃取材

※福祉課題の解決に取り組む継続的な活動の実施を目的とした事業の支援

植物を通して安心できる居場所を ガーデンふあむ

長屋が並ぶ一軒の軒下。そこには、多様な鉢に寄せ植えされた可愛らしい多肉植物が飾られています。『ガーデンふあむ』は、植物を通じた居場所づくりと多世代交流を目的に、地域住民が気軽に参加できる活動に取り組んでいます。



始めやすく、外に出るきっかけにもなる。植物にはたくさんの魅力が。

も、散歩で立ち寄り生育状況を見守る「花壇パトロール」と称した取組みも自発的におこなわれているとか。

中川さんは、

「地域の方から「花壇を綺麗にしてくれてありがとう」と声をかけられたり、活動者同士の新たな交流がうまれる様子は、自分の大きなやりがいにもなり、活動の魅力を最大限に感じる瞬間です。これからも植物を通じたつながりを生み出せるよう、新たな居場所づくりや、活動を広げる仲間づくりをしながら『ガーデンふあむ』を育てていきたい」と、笑顔を見せます。

活動は40〜50代の地域住民が中心ですが、障がい者施設からの相談をきっかけに、施設利用者も一緒に活動しています。そのひとつが、地域で不要となった植木鉢をアート鉢に再生し、寄せ植えをするプロジェクト。施設の利用者が洗浄・ペイントした鉢は個性に溢れ、唯一無二の作品へと姿を変えます。他にも、生野区の巽公園では月1回程度、花壇活動として植え替えや草抜きをおこなっています。活動日以外に

「ガーデンふあむ」はこれからも、植物や土に触れる時間を通して、人と人がゆるやかにつながる地域の交流を生みだし続けます。

ガーデンふあむ

Instagram: @garden_fam.park



副所長の 災害コラム

Vol.2

第2回 災害ボランティアセンターとは？

大規模災害が発生すると社会福祉協議会は、行政・運営ボランティア・関係団体等と協働のうえ災害ボランティアセンターを開設し運営します。この災害ボランティアセンターは、一言で言うと災害により被災した住民の皆さまの困りごとをお聞きし、被災者のために活動されるボランティアの力をつなげる仕組み（センター）です。

皆さんも災害発生後のニュース映像等で、災害ボランティア活動をされている光景をご覧になったことがあるかと思います。

しかしながら、報道等で災害ボランティアの活動が報じられるのは、比較的発災後数週間、1カ月前後の期間だけで、以降はあまり報じられません。災害ボランティアセンターは、発災後、数週間から1カ月前後で閉鎖するのか…という被災規模にもよりますがそうではありません。

発災後からしばらくの間は、自宅や住み慣れた地域でまずは最低限の生活を送ることができるように自宅を片付けたり、不要な瓦礫などを廃棄したり、掃除をしたりという活動が多くなり、人手も沢山必要となります。そういった活動が落ち着いてくると次は、生活や地域の復興に向けた活動が徐々に多くなり、災害ボ

ランティアセンターの規模や形態も状況に合わせて移り変わっていき、数ヵ月から1年以上も運営される場合があります。また閉鎖したからといって、ボランティア活動がすべてなくなる訳ではありません。通常のボランティアセンターでの活動やささまざまな団体等が被災地での活動を継続されています。

災害ボランティアは、瓦礫の運搬や水害の対応で泥だらけになっているイメージが強くなりがちですが、被災者の心を癒すための活動（傾聴や余暇活動等）や、やむを得ず自宅を離れ仮設住宅等で生活をされる方のための見守り訪問活動、コミュニティづくり、思い出の品探しや写真洗浄等の活動等々、ここでは書ききれないほど多岐に渡ります。

このような活動もすべて被災者・被災地の本当の意味での復興を願うからこそです。皆さんもできる範囲で被災者や被災地、災害ボランティアセンターや活動されるボランティアの皆さんを応援してください。



おいでよ!



地域の「子どもたち」

「こども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がる「こども」の居場所づくり」の取組みをご紹介します。



蒼組(鶴見区)
あおくみ

団地の一室で『蒼組』が紡ぐ地域のつながり

もとは畳敷きの和室に
フローリング調カーペットを
敷き洋室風に



大阪市では、団地や地域の活性化につながるコミュニティビジネス等の活動拠点として、NPO等の団体に市営住宅の空き住戸を提供して

を始めることにしました。その後、教頭先生の相談から他のこどもも一緒に見るようになり、そしてご飯も作るようになり、今では不登校児だけでなく、「居場所・寺子屋」「こども食堂」「a.m.たいむ(赤ちゃんママのつどい)」と活動が広がりました」と、山本さんはきっかけを教えてくださいました。そんな山本さんがひとりで始めた活動は、さまざまな巡りあわせから素敵な方たちに恵まれ、今では多くの方に支えられています。

『蒼組』では、不登校児を対象とした学習支援や食事支援、ひとり親世帯の親へのサポートに取り組んでいます。「自分のこどもが学校に行けない時期があり、自宅で学習サポート



年下のこどもたちのお手本になる
後片付け中の学生さん



野菜はJAの貸し農園で
育てている方が
分けてくれたものですよ

と話す山本さん。スクールサポートとして学校でも活動しており、「加奈子先生」とこどもたちから慕われています。ときどき小学校や中学校の先生も仕事帰りに立ち寄り、様子を見にきてくれるそう。訪問した日は「こども食堂」の日で、メニューはカレーライス。18時から次々とこどもたちがやってきて一気

活動を通して、少しずつ不登校が少なくなってきたことと、しんどさを抱えるお母さんが相談に来てくれることに安堵していると話す山本さん。スクールサポートとして学校でも活動しており、「加奈子先生」とこどもたちから慕われています。ときどき小学校や中学校の先生も仕事帰りに立ち寄り、様子を見にきてくれるそう。訪問した日は「こども食堂」の日で、メニューはカレーライス。18時から次々とこどもたちがやってきて一気

に賑やかになりました。大量の玉ねぎを切ったせいか「目が痛い」という場面も。
中高生で気になる子も多い、夜の活動後の防犯面など……心配の種はつきませんが、そんな山本さんを心配して集まる仲間がいます。山本さんは「まわりに助けられている、みんながしっかりとしてくれているから」と、気恥ずかしそうに話すと、「山本さんにしかできないことがある」とすかさずメンバーが口を揃えて言います。柔和な山本さんですが、「持っている人」で、運やツキが強いだけでなく、慕われ、周りを巻き込みながら『蒼組』の活動は続いていきます。

蒼組

Mail: ka75.minamino@gmail.com

ボランティア活動に参加するには？



参加のかたちはさまざま

ボランティア活動には、①すでにある団体やグループの活動に参加する②ボランティア登録をして個人で活動する③仲間と団体やグループをつかって活動する、などの方法があります。初めての人には、①での参加がおすすめです。



電話やメールで問い合わせる

市・区のボランティア・市民活動センターに、電話やメールで相談することもできます。知りたい情報や不安に感じていることなど、何でも気軽に相談してみましょう。



インターネットで情報収集する

以下のホームページでは、ボランティア団体やボランティア募集などの情報を閲覧できます。希望の活動が見つかった場合は、個別のNPO、ボランティア団体等に直接連絡をする方法もあります。

【大阪市市民活動総合ポータルサイト(シミボタ)】

登録団体紹介

<https://kyodo-portal.city.osaka.jp/userlist>

ボランティア情報

<https://kyodo-portal.city.osaka.jp/recruit/>

【社会福祉法人大阪ボランティア協会】

ボランティア活動情報検索サイト『KVネット』

<https://www.kvnet.jp>



一言
アドバイス

多くの団体では見学を受け入れているので、実際の活動を見てから参加を検討することができます。また、ボランティア活動を始める前には、活動中のケガや物品の破損など、万が一に備えて『ボランティア活動保険』に入りましょう。



団体やグループ、情報を探す

「COMVO」の情報マーケットをチェック！

情報誌「COMVO」では、毎号、活動団体から寄せられたボランティア募集情報等を掲載しています。大阪市ボランティア・市民活動センターのホームページでも「COMVO」を見ることができます。

<https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/>

「こてぼら」をチェック！

「こてぼら」は、大阪市ボランティア・市民活動センターから毎月2回(主に第1・3金曜)、活動団体から寄せられたボランティア募集情報等を配信しているメールマガジンです。

配信申込は
こちらから▼



ボランティア・市民活動センターを訪問して相談する

市・区のボランティア・市民活動センターに直接訪ねて相談してみましょう。また、各区のボランティア・市民活動センターでは、ボランティア登録を行うことができます。日時によっては担当者が不在の場合もありますので、事前に連絡しておくとう安心です。

はじめてのボランティア・市民活動



ボランティア (Volunteer) とはラテン語の Voluntas (= 自由意志) が語源で、自由な意思に基づいて自発的に行う社会活動のことをいいます。

ボランティア活動は、ほかの人や社会のために取り組むものと捉えられがちですが、活動する人自身にとっても、さまざまなことを得られる魅力が…。

例えば活動を通して、感動や喜び、充実感、達成感などを感じる場面が多くあります。また、普段できないような体験や経験を通じて、世代に関係なくさまざまな人たちと出会い、つながりを広げることもできます。自分が好きなこと、興味のあることなどから活動してみませんか？



どんなボランティア活動があるの？

こどもや青少年を対象とした活動

- 子育て支援 (遊びや一時保育)
- こども食堂などの居場所づくり
- 学習支援やレクリエーション活動支援 など

高齢者・障がい者を対象とした活動

- 食事サービス (会食・配食) や見守り、訪問活動
- 外出支援や文化活動のサポート
- 点訳・音訳・手話・朗読 など

安心・安全なまちづくり

- 防災・防犯・交通安全活動
- 地域のふれあい喫茶やサロン活動
- 地域のごみ拾い、清掃活動 など

自然や環境を守るための活動

- 森林や里山保全、河川や海辺の清掃活動
- 動物愛護活動
- リサイクル活動 など

芸術・文化的な活動

- 図書館や博物館での活動 (蔵書管理、館内ガイドなど)
- まち歩きや観光案内・ガイド など

社会的な課題に取り組む活動

- 路上生活者への支援
- 日本で暮らす外国人への語学・生活支援 など

災害で被災した人を支援する活動

- 被災地での家屋の片づけや困りごとへの対応
- 被災地外での物資仕分けや募金、被災者への生活支援 など

1日から参加できる活動

- スポーツイベントやお祭りなどの運営お手伝い
- ボランティア体験プログラムへの参加 など

その他

- 募金・チャリティー活動やフードドライブ
- 家でできるボランティア活動 (収集活動・手芸・寄付) など

ボランティア募集、イベント・セミナー情報いっぱい！

情報マーケット

Information Market

『参加してみたい!』と思ったり、内容について聞いてみたいことがあれば、各団体まで直接『コンボを見て』とお問い合わせください。



OCVACのウェブサイトから
団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

★1日のみOK★ゴミ拾いボランティア募集

淀川コネクトクラブ

<https://yodocone.jimdosite.com/>

初心者歓迎、運動にもなる朝活
一緒に楽しく地域貢献しませんか? 詳細はお気軽にお問い合わせください!

日 程 毎日6:30~7:00

場 所 地下鉄西中島南方駅(淀川区西中島1-12-10)

人数・条件 どなたでも ※トング・ゴミ袋・軍手の貸出をいたします

申込方法 Eメール

問合先 TEL/ 090-5158-0507
Eメール/ yodocone@gmail.com

第4回うさぎりんくフェスティバル ボランティアスタッフ募集

特定非営利活動法人 うさぎりんく

<https://usagirink-fes.jimdo.free.com/>

日本一幸福度の高い街づくりをテーマに大人も子供も楽しめるフェスティバル
のお手伝いをしてみませんか?

日 程 9/13(日) 9:30~17:00(うち可能な時間)

場 所 郊田土地改良記念会館(住吉区郊田9-5-27)
地下鉄「あびこ」駅3番出口から東へ徒歩5分

人数・条件 どなたでも 食事(軽食)あり
定員:5人程度(先着順)

申込方法 Eメール・HP 締切:8/31(月)

問合先 Eメール/ npo.usagi.link@gmail.com

5 病院内でのボランティアさんを募集しています!

大阪鉄道病院

<https://www.jrosakahosp.jp>

私たちと一緒に患者さんのサポートをしていただけませんか?
ホールでの外来患者さんのご案内、趣味を活かした裁縫や編み物、楽器演奏 ほか

日 程 毎週月~金曜日9:00~17:00(ご相談ください)

場 所 大阪鉄道病院(阿倍野区松崎町1-2-22)
JR・地下鉄「天王寺」駅、近鉄「大阪阿倍野橋」駅から東へ徒歩5分

人数・条件 高校生以上

申込方法 TEL

問合先 TEL/ 06-6628-2221 FAX/ 06-6628-4707

2 誰でものれる小さなヨット、アミティヨット教室 開催時のボランティア募集

セーラービリティ大阪

<https://www.access-dinghy.com/>

乗艇の案内、ヨットの準備、片付け等です。土日に体験乗艇会を開催、空き時間には乗って楽しむこともできますよ。詳しくはHP参照。

日 程 9/27(日)9:30~16:00頃

場 所 大阪北港マリーナ(此花区常吉2-13-1)
大阪シティバス「大阪駅前停留所」59系統から「北港ヨットハーバー」行き乗車 約50分

「西九条停留所」59系統から「北港ヨットハーバー」行き乗車 約25分

人数・条件 高校生以上 昼食持参(近くに売店はありません)

申込方法 TEL

問合先 TEL/ 090-3166-8993 (担当:藤本)
※お問合せの際は「ボランティアの件で」とお申し出ください

6 募集! 医誠会ボランティア「SAKURA」

医誠会国際総合病院

<https://www.iseikaihp.or.jp/info/volunteer/index.html>

私たちと一緒に医誠会ボランティア「SAKURA」で、来館者へ安心とやすらぎを届けましょう!

日 程 毎週月~金曜日 9:00~12:00
13:00~16:00(各時間帯で1時間から)

場 所 医誠会国際総合病院(北区南扇町4-14)
地下鉄「扇町」駅、JR「天満」駅

人数・条件 どなたでも 食事:職員価格でのカフェ利用可

申込方法 TEL・HP

問合先 TEL/ 0570-099-166 FAX/ 06-4301-5631

3 第13期大阪府地球温暖化防止活動推進員を募集します!

大阪府 脱炭素・エネルギー政策課

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120020/eneseisaku/suishinninn/index.html>

地球温暖化防止に向けた活動に取り組んでいただける方を、法律に基づき大阪府知事が推進員として委嘱します。詳細はHPからご確認ください。

日 程 10/1(木)~2028/9/30(土)(2年間)

場 所 府内全域(任意の場所)

人数・条件 18歳以上(ただし、高校生を除く)

申込方法 HP 締切:9/7(月)

問合先 TEL/ 06-6210-9287 FAX/ 06-6210-9259
Eメール/ eneseisaku-02@gbox.pref.osaka.lg.jp

⑪ 「子供から大人まで楽しめる天文教室」 天の川、銀河を学ぼう

関西で星を学ぶ会 単 土日祝

<https://sites.google.com/view/kansaidehoshi/>

大阪では見えない星の大集団「天の川」「銀河」を学びます。
後半はプラネタリウムで天の川を見ます。

日 程 9/5(土)18:30～20:30

場 所 大阪市立難波市民学習センター(浪速区湊町1-4-1 OCATビル4階)
JR「難波」駅の真上 地下鉄「なんば」駅

人数・条件 小学1年生以上 定員:28人(先着順)
参加費:500円

申込方法 HP 締切:9/3(木)※8/15(土)～募集開始

問合せ TEL/ 090-8121-6929
Eメール/ k337yjunam@ybb.ne.jp

⑦ 【都島区毛馬町】子ども食堂のボランティア募集

はぴっこくらぶ「ええとこ食堂」 継 平日

https://www.instagram.com/hapikkoclub?igsh=ZDVxNm5cWE5M21x&utm_source=qr

子ども食堂の準備・見守り・片付け運営を継続的にお手伝いいただける方。
月1回でも可能な方

日 程 毎月第2・4月曜日15:00～20:00

場 所 リバーサイドしろきた集会所(都島区毛馬町2-11-35-1階)
JR「城北公園通」駅から徒歩10分
市営バス「毛馬町2丁目」停留所から徒歩2分

人数・条件 どなたでも 定員:2～3人(先着順) 交通費あり(往復上限500円)
(活動終了後に余った時のみ食事あり)

申込方法 Eメール・HP

問合せ Eメール/ hapikkokurabu@gmail.com

⑫ このはな助けあいの会「あいっこ」 活動会員養成講座

此花区社会福祉協議会 単 土日祝

<https://konohana-kushakyo.or.jp/>

「あいっこ」とは暮らしの中の困りごとを活動会員と利用会員の会員同士で助けあう有償ボランティア活動です。講座に参加して、活動してみませんか?

日 程 9/12(土)10:30～12:00

場 所 此花ふれあいセンター(此花区伝法3-2-27)
阪神線「伝法」駅から徒歩7分

人数・条件 此花区内で活動できる人 定員:30人(先着順)
参加費:無料

申込方法 TEL・来所

問合せ TEL/ 06-6462-1224 FAX/ 06-6462-1984

⑧ ボランティア演奏団員募集

ウィークデアンサンブル 継 平日 土日祝

ミニオーケストラで高齢者施設、老人ホーム、病院などで、演奏と一緒に歌って頂く活動をしています。

日 程 練習日 木曜日(月2回)13:00～17:00
※訪問演奏日は依頼先の希望に合わせます(土日祝を含む)

場 所 天王寺区民センター(天王寺区生玉寺町7-57)
地下鉄「四天王寺前」駅から徒歩3分

人数・条件 チェロ、フルート(初心者不可)
参加費:入会時の入会金あり

申込方法 TEL・Eメール

問合せ TEL/ 080-9608-5344
Eメール/ weekday1997@gmail.com

⑬ 障がい者支援のためのICT機器安全セミナー

大阪府ITステーション 単 平日

<http://itsapoot.jp>

インターネット上の詐欺や課金トラブルへの、被害の未然防止と適切な対応力の向上を目的として開催します。お申込はHP内、お知らせの6/22新着情報からお進みください。

日 程 9/16(水)14:00～16:00

場 所 大阪府ITステーション(大阪市天王寺区上汐4-4-1)
地下鉄「四天王寺前」駅から徒歩約600m
地下鉄「谷町九丁目」駅から徒歩約600m

人数・条件 どなたでも 定員:30人 参加費:無料

申込方法 HP 締切:9/1(火)

問合せ TEL/ 06-6776-1241 FAX/ 06-6776-1281
Eメール/ ict_seminar00@itsapoot.jp

⑨ 市民公開講座「酒づくりにおける革新と伝承」

日本看護学教育学会第36回学術集会 単 土日祝

<https://jane36.umin.jp/citizen.html>

伝統を守りながら進化を続ける酒造りの世界。受け継がれる技と革新の歩みを通して、日本酒文化の魅力と未来を、蔵元がわかりやすくお話しします。

日 程 8/29(土)12:30～13:30

場 所 大阪国際会議場 小ホール(第2会場)(北区中之島5-3-51)
京阪線「中之島」駅2番出口すぐ

人数・条件 どなたでも 参加費:無料

申込方法 HP(当日参加可)

問合せ Eメール/ jane36-kikaku@ompu.ac.jp

⑭ 「御堂筋ふれあいバザー」開催のお知らせ!

Daigasグループ「小さな灯」運動、大阪ガスネットワーク(株) 単 継 平日

<https://network.osakagas.co.jp/effort/index.html>

障がい者の社会参加を目的に、福祉作業所で作られた授産商品(焼き菓子やパン、雑貨など)を中心に販売します。ぜひご来場ください。

日 程 9/16(水)～18(金)各日11:00～15:00

場 所 大阪ガス 本社ガスビル 御堂筋沿い(中央区平野町4-1-2)
地下鉄「淀屋橋」駅13番出口から南へ徒歩3分

人数・条件 どなたでも

申込方法 申込不要

問合せ Eメール/ tomoshibi@osakagas.co.jp

⑩ 家族会「ひとりよりふたり」

一般社団法人 マノ・ア・マノ 単 継 土日祝

<https://mano-a-mano.fun/>

おとなのひきこもりでお悩みのご家族の交流・意見交換の時間。ご家族の第一歩。

日 程 8/30(日)、10/25(日)、12/20(日)各日13:00～16:00

場 所 国民会館12階(中央区大手前2-1-2 国民会館大阪ビル)
地下鉄「天満橋」駅3番出口 京阪線「天満橋」駅東出口

人数・条件 どなたでも 定員:10家族前後 参加費:無料

申込方法 TEL・HP

問合せ TEL/ 090-9458-1402

19 親をがんで亡くした子どものためのグリーフケアプログラム

特定非営利活動法人 AIMS(エイムス) 単 継 土日祝

<https://www.aims-japan.org>

同じ体験をしたお友達が集まって一緒に遊んだりお話をしたりする場です。子どもの会と並行して保護者の方の会も開催しています。

日 程 偶数月の第3日曜日14:00~15:30

場 所 大阪市内(詳細はお申し込み後にお伝えします)

人数・条件 親をがんで亡くした5歳~12歳くらいまでの子どもとその保護者の方(詳細を事前にお電話にてお伝えしています。参加するかどうかはその後にお決めいただいて大丈夫です)参加費:無料

申込方法 HP

問合せ Eメール/ info@aims-japan.org

20 囲碁同好会

大成小学校囲碁クラブ 単 継 土日祝

囲碁を何局でも好きなだけ対戦出来ます。初心者大歓迎。

日 程 毎週土曜日17:00~20:00

場 所 大阪市立大成小学校内 多目的室(東成区大今里西3-2-62) 地下鉄「今里」駅から徒歩6~8分

人数・条件 どなたでも 参加費:無料

申込方法 Eメール

問合せ TEL/ 090-6193-5128 Eメール/ htakondo@yahoo.co.jp (Eメール発信の際、必ずお名前と電話番号を明記下さい)

21 第24回 読売福祉文化賞

社会福祉法人 読売光と愛の事業団

<https://www.yomiuri-hikari.or.jp/bunkasyou/>

障害者やこどもの福祉を中心に福祉全般を対象とする「一般部門」、高齢者を支援する福祉活動を対象とする「高齢者福祉部門」の2部門において、時代にふさわしい福祉活動に長年取り組んできた団体や個人を募集します。

応募対象 ・公益性ある創造的な事業で、ハンディを持つ方や地域の人々に元気を与え、ネットワークを広げている。・個人または団体が生き生きとした活動の場を持つ支援を実践している。・福祉の現場において、多様な文化やQOL(生活の質)向上に尽くしている。・明確なテーマを持って、目覚ましい実績をあげており、将来も継続、発展が期待できる。・既存の枠組みにないアイデア、新しい試みを形にして、新しい価値を作り出している。※原則として5年以上の活動実績が必要

表彰内容 「一般部門」:3件(賞状及び副賞100万円)「高齢者福祉部門」:3件(賞状及び副賞100万円)

応募方法 HPから申請書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ添付書類とともに郵送またはメール送信 ※詳細はHP参照

応募締切 8/31(月)必着

問合せ TEL/ 03-3217-3473 FAX/ 03-3217-3474 Eメール/ hikari-ai@yomiuri.co.jp

22 第24回 企業フィランソロピー大賞

公益社団法人 日本フィランソロピー協会

<https://www.philanthropy.or.jp/project/award/24th/>

社会の課題解決のために、自社の経営資源(人材・ノウハウ・技術・情報など)を有機的・持続的に活用した社会貢献活動を顕彰し、広く社会に発信することにより、公正で温もりと活力ある社会を次世代に伝える一助とします。

応募対象 企業が行う社会課題の解決や社会の健全な発展に寄与する活動
・自薦、他薦を問いません
・企業の業態・規模の大小を問いません
・全社的な取り組みに限らず、各事業所や部門単位でのプロジェクトも応募可能
※NPO等、非営利法人の活動は、本賞の対象外です。

応募方法 所定の応募用紙をHPよりダウンロードし、記入のうえHPのフォームで送信

応募締切 9/1(火)

問合せ TEL/ 03-5205-7580 FAX/ 03-5205-7585 「お問合せフォーム」をご利用ください

15 ひとり親家庭等日常生活支援事業 家庭生活支援員(子育て担当)養成研修会

公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会

<https://www.hitoren-osaka.org> 継 平日 土日祝

ひとり親家庭の方が、一時的に保育が必要となき、自宅や利用者宅などでこどもを預かるなどの支援をしてくださる方を募集しています!

日 程 平日コース 10/2(金)~11/6(金)(全5日間)
土曜コース 10/3(土)~11/7(土)(全5日間) 各日 9:15~16:40

場 所 大阪市立愛光会館(北区中津1-4-10) 地下鉄・阪急線「中津」駅

人数・条件 研修会最終時点で70歳以下の方 定員:各コース30人 (ファミリーサポート提供会員の方は免除科目あり) 参加費:無料(ただし、保育所実習に伴い一部自己負担があります) ※一時保育あり(愛光会館での講義のみ) 対象年齢:1歳~12歳(小学生)までのお子さま

申込方法 FAX・郵送・HP・来館(所定の用紙にて申込み) 締切:9/11(金)

問合せ TEL/ 06-6371-7146 FAX/ 06-6371-6722 Eメール/ haha@v-aid.org

16 関西のいのちの電話 第30回チャリティコンサート 大野敬正 津軽三味線コンサート

社会福祉法人 関西のいのちの電話

<https://kaind2.com>

大野敬正さんは世界を舞台に活躍する津軽三味線プレイヤー。心に響く感動を生演奏でぜひ体感してください!!

日 程 10/3(土)14:00開演(13:30開場)

場 所 ドーンセンター ホール(中央区大手前1-3-49)
京阪・地下鉄「天満橋」駅1番出口から東へ350m
JR「大阪城北詰」駅2番出口から550m

人数・条件 どなたでも※未就学児可
参加費:指定・自由席ともに 大人前売券3,500円(当日券4,000円)
学生前売券1,500円(当日券2,000円)

申込方法 TEL・FAX・Eメール

問合せ TEL/ 06-6795-4860 FAX/ 06-6795-4861 Eメール/ jimukyoku@kaindinochi.com

17 男のセカンドキャリア塾 塾生募集!(令和8年度 大阪府福祉基金地域福祉振興助成金採択事業)

NPO法人 SKY

<https://mens-second-career-academy-2.jimdosite.com/> 単 継 土日祝

男性のみが参加できる全く新しいコミュニティです。セカンドキャリアを考える上で必要な各種講座を開催!

日 程 10月~2027年3月の期間 各月2回(土曜日) 13:30~15:30 ほか ※詳細はHP参照

場 所 大阪産業創造館(中央区本町1-4-5) 地下鉄「堺筋本町」駅から徒歩5分

人数・条件 50代~75歳までの男性に限る 定員:25人(先着順) 参加費:無料

申込方法 Eメール・HP 締切:9/30(水)

問合せ Eメール/ esukeiwai.info@gmail.com

18 パソコン点訳講習会(初級)受講者募集

生野点訳サークル 継 土日祝

点訳を基礎から学び、受講終了後、点訳ボランティアとして一緒に活動していただく方を募集しています。パソコンが苦手な方でも大丈夫です。

日 程 10/24~12/19毎週土曜日(全10回)各日 18:30~20:30
※会場の都合で休みがあった場合、12/26までとなります。

場 所 生野区民センター(生野区勝山北3-13-30) JR「桃谷」駅から徒歩約15分

人数・条件 高校生以上 定員:10人(先着順) 参加費:1,400円(点訳のてびき(第4版)をお持ちの方は無料)

申込方法 TEL・FAX

問合せ 生野区社会福祉協議会 地域支援担当 TEL/ 06-6712-3101 FAX/ 06-6712-3001



単発的な活動



継続的な活動



平日に開催



土日祝に開催



食事あり



交通費支給



初心者OK

NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリアルタイムでお届けします。

こどもを信じ、こどもと育ち合いながら

特定非営利活動法人 みなみのばたの会

<https://minaminobatanokai.wixsite.com/bata-org>

私たちの活動は島之内のこどもたちから遊び場を求める声が上がったことで始まりました。この島之内に多く暮らすフィリピンルーツのこどもたちはタガログ語という言葉を使います。そのタガログ語で「ばた(bata)」は「こども」と言う意味だそうです。以降、小学生から高校生まで障害の有無や国籍のちがいに問わず、こどもたちと会議で色んな事を決めながら活動を行っています。これまでプレーパークやハイキング、「こども『が』食堂さくらば」などの活動を行ってきましたが、まだ島之内に当会が所有している活動場所がありません。そんな中でもこどもの声に共感していただいた他区の団体から活動場所をお借りするなど、転々としつつも業種や領域を超えた多くの「つながり」に支えられ活

動をしています。活動が広がるにつれて子育てに関する相談に対応することや、学校や病院など他機関への同行、調整を行うことも増えました。こどもたちが自分らしく過ごせ、一人ひとりの多様性が大切にされる場所を島之内に作るのが次のミッションになっています。これからも「与える、よりも『奪わない』」を大切にしながら、こどもを信じ、こどもと育ち合う活動を続けていきます。



色んな事に挑戦。
失敗するものも
大事なことの権利。



25 全国高校生何でも、アリ。Creative Award 2026

秋田公立美術大学

<https://u18cc.jp/>

部活でも、遊びでも、研究でも、趣味でも、何でもアリ。今あなたが、夢中になって取り組んでいる表現・活動、心を突き動かしてくれる活動を、3分以内の動画で教えて下さい。

応募対象 ・高校生(表現者本人が高校生であること)・高等学校に所属している生徒(年齢不問)・高等学校には定時制高校、高等専門学校(3年生以下)、通信制高校、高等・専修学校、特別支援学校(高等部)を含みます。異なる高等学校で構成されたチームでもかまいません。※対象がどうか不明な場合はお問い合わせください。

賞 金賞/30万円+お米1俵相当(1作品)、銀賞/5万円(数作品)、銅賞/1万円(数作品)、協賛企業賞/3作品

応募方法 活動をまとめた3分以内の動画を添えて、Google Formsよりご応募ください。Eメール、郵送でもご応募いただけます。※詳細はHPをご確認ください。

応募締切 10/15(木)17:00

問合せ先 全国高校生 何でも、アリ。Creative Award 2026 運営事務局(NPO法人 アーツセンターあきた) TEL/ 018-888-8137 Eメール/ info@u18cc.jp



23 公園・夢プラン大賞 2026

一般財団法人 公園財団

<https://www.prjf.or.jp/>

公園で「実現した夢」「やりたい夢」を募集しています! 最優秀賞は最大10万円のギフト券(実現した夢部門)! 詳細は「公園・夢プラン大賞」HPへ。

応募対象 ・「実現した夢」部門:過去5年間に公園で実施されたイベントや活動
・「やりたい夢」部門:公園でやってみたいイベントや活動のアイデア
※その他の条件や表彰内容など詳細はHPを参照

応募方法 HPの応募フォームからご応募ください。※詳細はHP参照

応募締切 9/25(金)

問合せ先 TEL/ 03-6674-1188 FAX/ 03-6674-1190
Eメール/ yumeplan@prjf.or.jp



26 2027年度がん患者団体助成

公益財団法人 正力厚生会

<https://shourikikouseikai.or.jp/>

がん患者やがん患者を支援する団体に取り組む優れた事業に助成します。相談窓口の開設や小冊子の発行、シンポジウムの開催、ホームページの開設・改修など、企画運営が対象です。

応募資格 がん患者会、がん患者とその家族を支援するグループなど。国内で活躍するグループ(医療機関内の患者会等を含む)なら法人格の有無は問いません。

助成金額 1件(1団体)当たり50万円以下

応募方法 HPから申請書をダウンロードし、所定の資料を添付してメールまたは郵送

応募締切 10/16(金)必着

問合せ先 TEL/ 03-3216-7122 FAX/ 03-3216-8676
Eメール/ skouseikai@yomiuri.com



24 認定NPO法人取得資金助成

公益財団法人 SOMPO福祉財団

<https://www.sompo-wf.org/>

地域の中核となり、持続的に活動する質の高いNPO法人づくりを支援し、「認定NPO法人の取得」に必要な資金を助成します。 詳細はHPをご覧ください。

助成対象 社会福祉分野で活動し、認定NPO法人の取得を計画している特定非営利活動法人。(インターネット申請が可能な団体)

助成金額 1団体あたり30万円(総額300万円予定)

応募方法 HPの申し込みフォームより、必要事項を入力の上、送信してください。 ※その他の提出資料についてはHPをご覧ください。

応募期間 9/1(火)~10/9(金) 17:00

問合せ先 TEL/ 03-3349-9570 FAX/ 03-5322-5257
問合せフォーム/ <https://www.sompo-wf.org/contact.html>

学生ボランティア活動

連載リレーコラム

No.58

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちが仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

スマホ相談会で広がる地域とのつながり



地域の喫茶スペースで
スマホ相談中

私は社会福祉士を目指し、大学で社会福祉学を学んでいます。福祉の現場で必要なコミュニケーション力を培い、多様な人と関わりたいという

思いから、在学中に『一般社団法人チイキスタイル』が取り組む『御用聞き』※のボランティアを始めました。高齢者施設での傾聴ボランティアなど様々な活動を経験してきましたが、特に力を入れているのが高齢者向けのスマホ相談会です。寄せられるのは「自分の写真を家族に送りたい」「LINEで孫の写真を保存したい」などといった日常のちょっとした困りごとが大半です。しかし、操作が出来るようになった瞬間の「ありがとう」という言葉や、家族とのつながりが少しでも深められたという達成感から私自身の心も満たされています。一人暮らしの高齢者が増加し、なおかつスマホのサポートが有料化さ

れつつある今、気軽に頼れる存在が地域にいることは、孤立を防ぐ意味でも大きな価値があると肌で実感してきました。

相談会では、スマホの使い方だけでなく、日々の暮らしや昔の思い出話をすることも少なくありません。3年生になり、実習や授業で忙しい日々を送る私にとっても、この何気ないおしゃべりの時間は、気持ちをリフレッシュしてくれる大切な時間になっています。

※地域のちょっとした困りごとへ御用に対応する活動を指します



所属団体：一般社団法人
チイキスタイル
趣味：漫画を読むこと
体を動かすこと
学 年：3年

武庫川女子大学
心理・社会福祉学部社会福祉学科
松村 朱莉
まつむら あかり

学生コラムライター大募集！

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中！！

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちが仲間とのエピソードなどを書いてみませんか？

- 対 象** 大阪市内でボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。
- 内 容** 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただきます)
- 応募方法** 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。
- お問合せ先** 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当:泉)



エントリーはこちらから▶



アンケートにご協力ください！

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。
抽選で毎月3人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。

ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上

2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。

3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。

ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)

4. 今月号で良かった記事は何ページですか？その理由も教えてください。

5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。

6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

宛先

大阪市ボランティア・市民活動センター

「読者アンケート 情報誌COMVO304号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2026(令和8)年9月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報は、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



編集後記

例年以上に気温の上昇が早く、セミの鳴き声もずいぶん前倒しで聞こえてきたように感じます。連日の猛暑が続きますが、みなさん体調はいかがでしょう。

今号の情報誌COMVOの取材では、嬉しい再会がありました。特集でお話を伺った『特定非営利活動法人チュラキューブ』代表の中川悠さん。実は編集担当者が大学生の頃、授業を受けたことのある先生だったのです。思いがけないご縁に触れ、取材を通して当時の学びや時間がふっとよみがえるような、温かいひとときとなりました。

まだまだ暑い日が続きますが、みなさんがそれぞれの場所で無理なく、心地よく過ごせますように。次号でも、地域の活動や人のつながりを感じられる情報をお届けしていきます。

ボランティア・市民活動情報誌 COMVO への広告募集！

■体裁・発行・部数

B5判 16頁(フルカラー)年6回発行 各40,000部

■広告申し込み締切

発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申請ください)

■申込方法

下記まで問合せください

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。大阪のボランティア・市民活動情報が満載！市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

広告料金(税込)

掲載箇所スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)
表4 1ページ	234,000円	240×170
表4 1/2ページ	127,500円	120×170
本文 1ページ	156,000円	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	120×170
本文 1/4ページ	46,500円	60×170

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。それ以外は別途製版料が必要です。
※掲載ページの指定はできません。 ※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL 06-6765-4041 FAX 06-6765-5618

E-mail ocvac@osaka-sishakyo.jp HP <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

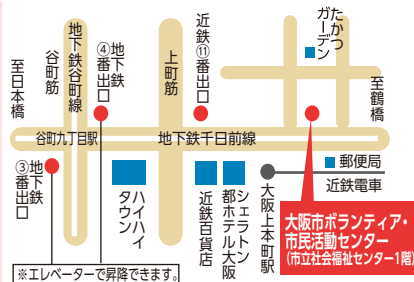
●開館時間：午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)

●休館日：日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日：2026年8月15日

●発行部数：40,000部 ●制作協力：東洋紙業高速印刷株式会社 ●点訳協力：NPO法人ぼこ・あ・ぼこ

掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。

●本誌は大阪府共同募金会の助成を受けて作成しています



「COMVO」主な設置・配布場所

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区社会福祉協議会、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など
※大阪市ボランティア・市民活動センターでは、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

区 名	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北 区	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都 島 区	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福 島 区	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此 花 区	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中 央 区	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西 区	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港 区	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大 正 区	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪 速 区	浪速区難波中3-8-8	6636-6027	6636-6028
西淀川区	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀 川 区	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東 成 区	東成区大今里南3-11-2	6977-6336	6977-6339
生 野 区	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭 区	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城 東 区	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴 見 区	鶴見区諸口5-浜6-12	6913-7070	6913-7676
阿倍野区	阿倍野区帝塚山1-3-8	6628-3434	6628-9393
住之江区	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住 吉 区	住吉区浅香1-8-47	6607-8181	6692-8813
東住吉区	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平 野 区	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西 成 区	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668